



MAGからテラ・ルネッサンスへの提案書

「カンボジアのコミュニティ開発を
促進するための地雷調査と撤去」



プロジェクト期間: 2021年4月 - 2022年3月 (12か月)

MAG Cambodia

#9AB, Street 446, Sangkat Toul Tum Pong I
Khan Chamkarmon, Phnom Penh, Cambodia
T: +855 (0) 23 215 115

プロジェクト名:	カンボジアのコミュニティ開発を促進するための地雷調査と撤去
プロジェクト実施地:	カンボジア北西部
プロジェクトの目的:	カンボジア農村地域における、地雷に汚染されたコミュニティの長引く貧困の削減と社会的復興に、地雷の撤去を通して貢献する。
プロジェクトの目標:	コミュニティ発展の機会を最大にするために、地雷に汚染されていると疑われる地域での機械による調査と地雷の撤去を支援する。
プロジェクトの規模:	1つの機械操作ユニット
プロジェクトの総コスト:	6,000米ドル
プロジェクトの総実施期間:	2021年4月-2022年3月(12か月)

概要

1992年にカンボジアで事業を開始して以来、MAGは9,500万㎡以上の土地を地雷の影響を受けてきたコミュニティに返還し、35万個以上の危険物を破壊して、190万人以上の女性、少女、男性、少年の直接的な利益に貢献してきました。人口の80%が農村部に住み、経済的打撃に対して非常に脆弱な国では、地雷汚染の存在が、地雷被害を受けたコミュニティの貧困削減と開発への新たな取り組みを妨げ続けています。MAGはカンボジア王国政府（RGC: Royal Government of Cambodia）を支援して土地を安全で生産的に使用できる状態に戻し、「地雷のない2025年」構想を支援しています。

課題

MAGを含む様々な事業者による30年近くの作業にもかかわらず、地雷やその他の爆発性戦争残存物（ERW: Explosive Remnants of War）の存在は、カンボジア全土の農業、天然資源、インフラのための安全な土地へのアクセスを妨げ続けています。事故率は1990年代末の年間4,000件から激減しているものの、2020年にはカンボジア全土で、地雷やその他のERWによって69人が負傷または死亡しているのです。

カンボジアは過去10年間で大きな経済的転換を遂げ、2007年から2014年の間に貧困の発生率は半分以下に減少しましたが、社会的保護の仕組みが限られているため、特に農村部のコミュニティは外部からのショックに対して非常に脆弱な状態が続いています。1日0.5ドルの収入が失われると、人口の40%に当たる600万人のカンボジア人が再び貧困に陥ると推定されています（注1）。このような状況の中で、カンボジア西部のコミュニティは、貧困ラインを超えようと必死に努力していますが、経済的な必要性から、また限られた生計手段を補うために、危険な地域で生活や仕事をしたり、リスクの高い活動を行ったりしています。新型コロナウイルスの大流行に端を発した世界的な経済不況は、カンボジアの経済に大きな影響を与えており、今後数年間、カンボジアの回復力や経済成長率の向上が遅れることが予測されています。収入減は依然として広範囲にわたっており、脆弱なコミュニティの生活に大きな影響を与えています。何千人もの労働者や移民が、都会や他の国で生活するのではなく、故郷の地方／国に戻ることを余儀なくされ、主に農地に頼って生計を立てることになります。

バタンバン州は、カンボジアで最も地雷の被害を受けている州であり、最も貧しい州の一つでもあります。推定130km²の土地が地雷で汚染されており、主に農村部の人口の約40%が1日1ドル以下で生活しています。MAGの地雷除去活動の恩恵を受けている人々の大半は、自給自足の農業（米、キャッサバ、メイズ、マンゴー、カシューナッツ、トウモロコシ、コショウなどの栽培）と木材以外の林産物の採取を主な生計手段としています。コミュニティは、インフラの整っていない遠隔地に多く住んでいるため、サービスへのアクセスが非常に限られています。また、地雷やERWによる汚染が原因で農地の利用が制限されていることも、貧困削減や開発の妨げになっています。

¹ 世界銀行:カンボジアのパートナーシップフレームワーク (2019年5月1日)。

プロジェクト説明

本事業は、同国北西部のバタンバン州において、重点地域の地雷撤去を実施することによって、農村コミュニティの社会経済的発展を支援します。本事業では、地雷汚染が疑われる地域の技術調査・地雷撤去を行う機械操作ユニット（MOU: Mechanical Operations Unit）1つの配備に貢献します。

MAGは、脅威の性質や対処する地雷原の種類に応じて最大の効率を確保するために、さまざまなツール、技術、方法論を使用して土地の返還に向けた統合的なアプローチを採用しています。このプロジェクトは、DIGGER D-250という機械の配備を支援するものです。この機械は、2人の機械オペレーターで構成されるチームが操作する、完全に装甲された遠隔制御機械であり、4人の地雷撤去員、チームリーダー、および医者がサポートします。また、この機械は耕運機を装備しています。

MOUは、優先順位の高い地雷原に配備され、広大な土地を迅速かつ安全に返還することができます。これは土地を耕すことを通じて行われますが、これにより、より時間のかかる手動の撤去方法を導入する必要がなくなりました。DIGGER機が場所を完全に覆った後は、機械操作ユニットに所属する地雷撤去員が目視による搜索と探知機による徹底的な搜索を行い、地雷がすべて破壊されていることを確認します。

この機械を使用することで、土地の返還の効率と効果が大幅に向上し、MAGが手作業による地雷撤去方法のみを展開した場合よりも、迅速に土地をコミュニティに返還することが可能になりました。手動の地雷撤去チームでは2〜3年の作業が必要だった40ヘクタールの土地を、D-250の機械を使用することで6カ月以内にコミュニティに返還することができます。

プロジェクトの成果と結果

テラ・ルネッサンスからの多額の資金援助により、MAGは、地雷やERWの脅威にさらされているカンボジア西部のコミュニティを支援するための調査・地雷撤去活動を実施し、以下の成果に直接貢献することができるようになりました。：

成果

- 機械操作ユニット – DIGGER250による調査・地雷撤去活動により、**38万㎡以上の安全な土地**を返還することができる。
- **2,850名の直接・間接受益者**が、安全に土地を利用して生計を立てることができる。
- 活動地域内で発見された**地雷やその他のERWを100%安全に除去・破壊**する。

地雷撤去活動のための場所を選定する前に、MAGはカンボジア地雷対策・被害者支援庁(CMAA : Cambodian Mine Action and Victim Assistance Authority)、州の地雷対策計画ユニット(MAPU: Mine Action Planning Units)、影響を受けたコミュニティ自体と、一連の基準を使用して地雷撤去を進める地域の優先順位をつけるために、緊密に連携しています。そうすることで、MAGはその活動が国や州の開発計画、コミュニティのニーズや優先事項と完全に一致していることを確認しています。このプロジェクトで地雷が撤去された土地は、主に農業活動や天然資源の採取に使用され、コミュニティが生計の機会を最大限に活用できるようにし、長期的な社会経済発展に貢献することになります。インパクト後の評価では、MAGカンボジアが地雷を撤去した土地は、地雷撤去後平均2〜3ヶ月で生産的な使用に戻されることが実証されています。

テラ・ルネッサンスの資金支援を受けて、MAGは以下のような主な結果を期待しています。：

- バタンバン州のコミュニティでの、**怪我や死亡のリスクを軽減**。
- **地域社会の安全と安心の向上**：地雷の恐怖から解放され、コミュニティの生活の質が向上し、より安定した生産的な環境が整います。
- **生計活動への支援**：致命的な汚染の存在は、農業に利用できる土地を制限し、天然資源へのアクセスを制限しています。MAGはこれらの障害を取り除くことで、コミュニティが土地を取り戻し、生計を向上させることを可能にします。
- **地域の復興と再生の促進**：MAGによって地雷が取り除かれた地域には、コミュニティだけでなく、長期的な貧困削減を支援する政府機関や開発機関も安全にアクセスできるようになります。

受益者

このプロジェクトで、主に自給自足の農業と木材以外の林産物の採取を主な生計活動としている、農村地域に住む**95人の脆弱な人々**が直接受益することになります。コミュニティの多くは、アクセスが悪く、インフラが整備されていない遠隔地に住んでおり、そのためサービスや開発介入へのアクセスが非常に限られています。さらに、2,755人の受益者が間接的に支援を受けることになります。

ご支援の影響力



Dei Chamkar Lok Sam Rathの地雷原は、バットアンバン州のSamlout地区、Ou Tatiek村にあります。

2019年にテラ・ルネッサンスからの支援を受け、MAGはDei Chamkar Lok Sam Rathの地雷原に機械支援ユニットを配備し、地雷探知犬チームを支援して261,807m²の土地から地雷を撤去し、命取りの危険物を除去することができました。土地が安全になった後、コミュニティはすぐにその土地を農業に使い始め、作物の拡大と多様化が可能になりました。

セイリンさん（上記写真）は、この村で農作物を増やすことができるようになる49人の受益者の一人です。彼女はMAGチームのメンバーに、利用可能な土地を拡大する前の状況について話してくれました。

「私は合計8万平方メートルの土地を持っていますが、家族を養うための米作りに使えるのはほんの一部です。危険な土地であることはわかっていましたが、家族を養うためには仕方ありませんでした。」

MAGチームのおかげで、セイリンさんはさらに3万平方メートルの土地を使って、トウモロコシ、マンゴー、カシューナッツ、米、ウコン、カボチャなどを栽培できるようになりました。来年は250ドルの収入を見込んでいますが、数年後にはさらに増やしたいと考えています。セイリンさんは、5ヘクタールの土地を1万5,000ドルで売り、家族のために新しい車を買うことができたと言います。



「何も払わずに安全な土地を取り戻せたことがとても嬉しく、わくわくしています。こんなことは全く予想していませんでした。それだけではなく、MAGのスタッフはフレンドリーで良い倫理観を持っています。このようなチャリティー活動を私や地域の人々に提供してくれたMAGと支援者の方々にとても感謝しています。」

また、地雷原を取り巻く地域社会全体が、MAGが提供するリスク教育の恩恵を受けました。MAGは、危険にさらされているグループをサポートし、危険なものを認識し、回避し、報告する手助けをしています。